

# 東京薬科大学新聞

# No.152

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

5月号 1989 東京薬科大学新聞会

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者 嶋村 信孝

## 今号の内容

- 第1面 入試データ  
国家試験速報
- 第2面 新歓中間報告  
マラソン大会コース図  
自治会選挙始まる  
など

## 平成元年度 一般入試結果一覧表

	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
男子部	180	1749	1965	419	4.04	241
女子部	140	1764	1702	283	6.01	135

注) 男子部の合格者数は、補欠合格者12名を含む。

	科目	男子部			女子部		
		最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点
受験者	数学	100	0	43.3	100	0	38.2
	英語	85	8	43.2	89	6	51.6
	化学	100	5	49.4	93	11	46.4
	総合	276	29	135.9	239	38	136.3
合格者	数学	100	19	61.4	100	25	62.1
	英語	85	22	55.4	89	40	65.1
	化学	100	25	71.5	93	30	60.1
	総合	276	165	188.4	239	170	187.3

# 新入生五百 七十六人が入学

— 高校別では秦野高校の六人が最高 —

今年度の入学試験は、二月六日、七日に行われ、男子部千六百九十五名、女子部千七百二名が受験した。このうち男子四百七名、女子二百八十三名が合格し、最終的な入学者は男子二百四十一名、女子百三十五名となった。実質倍率は、男女とも昨年よりやや上昇気味だが、受験者数の増加(五十六人増)に合格者の減少(四十三名減)も手伝ったものと思われる。全体的に見ると、男子は昨年並みだが、女子部は少し厳しかったようだ。

科目別に見ると、得点結果は、ほぼ昨年と同じ傾向を示している。特徴的なのは、男子の最高が二百七十六点と、最近では稀な得点であった。また、例年そうなのだが、合格者のなかには、一科目の点が十九点や二十五点の人たちもおり、一科目くらいは良くなくても他の二科目で挽回すれば合格することも可能であることがわかる。合格最低点は、男子部百六十五点(得点率五十五%)、女子部七十点(同五十六・七%)であった。毎年入試問題は違うため単純比較はできないが、女子部では最低点が二十点も上がり、レベルアップしているのかもしれない。

出身地区別では、北海道から沖縄まで合計三百三十二人の高校から新入生を迎えたが、大学が東京にあるため、関東地方を中心に東日本勢が多い。また、高校別でも最も入学者数が多かったのは、神奈川県秦野(神奈川)の六人、町田(東京)の五人、浦和西、春日部、城北(4人)、埼玉(埼玉)の三人、東邦大付属東邦、立川、国学院久我山、富士(東京)の二人、相模大野、相模原、横浜平沼(神奈川)の一人、磐城(福島)の水戸第一(茨城)の一人、熊谷、県立熊谷女子、独協埼玉、本庄、藤島(埼玉)の一人、市川(千葉)の一人、国立、国分寺、成蹊、豊岡女子学園、三鷹、明治学院東村山(東京)の一人、麻溝台、厚木、市ケ尾、カタリス女子、七里ヶ浜、多摩、鶴見、桐蔭学園、柏陽(神奈川)の一人、

## 第71回薬剤師国家試験合格状況

	受験者	合格者	不合格者	合格率
Ym	141名	120名	21名	85.11%
Em	74名	71名	3名	95.95%
S	73名	65名	8名	89.04%
Yf	138名	121名	17名	87.68%
Ef	71名	71名	0名	100%
合計	※497名	448名	※49名	90.51%

※試験欠席者2名を含む

者数が多かったのは、神奈川県秦野高校の六名であった。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
入学者数

高校別ランキング

(6人) 秦野(神奈川)

男5 女1

(5人) 町田(東京)

男1 女4

(4人) 浦和西、春日部、城北

埼玉(埼玉) 木更津、

東邦大付属東邦、立川、

国学院久我山、富士(東

京) 相模大野、相模

原、横浜平沼(神奈川)

(3人) 磐城(福島) 水戸第

一(茨城) 足利(栃

木) 熊谷、県立熊谷女

子、独協埼玉、本庄、藤

島(埼玉) 市川(千葉)

国立、国分寺、成蹊、豊

岡女子学園、三鷹、明

治学院東村山(東京)

麻溝台、厚木、市ケ尾、

カタリス女子、七里ヶ

浜、多摩、鶴見、桐蔭学

園、柏陽(神奈川)

## 薬味

最近何やらクラシックが流行現象になってきたようだ。TV・CFでは頻りにクラシックが使われている、演奏家の来日にもますます拍車がかかっている。僕自身、ちよっとしたきっかけてクラシックを聴いてみて、その魅力に取りつかれてしまった。◆音楽をジャンルで分ける場合、クラシックは特別扱いされているが、ロックも聴いてオペラも聴いて、おまけに演歌も聴くというマルチ人間が増えてきた現在では、クラシックも特別なものではなくなりつつある。しかし、ここで言うマルチとは何もかもゴチャ混ぜというものではなく、その場に合った音楽のTPOを無意識のうちに入心得ている、音楽を楽しむ人達のことだ。最初から売れることを目的とした音楽は、3か月もすると飽きてしまふ。ところが、純粋な気持ちで音楽に接し、うして生み出された音楽は、何年経っても生命力を失っていない。クラシックが見直されてきたのは、音楽があまりに産業化されてしまったことへの反動である。日本のクラシック演奏家、ポップスやジャズを聴いているという人が増えてきている。そういうクラシックの意識の変化も、クラシックがよく聴かれるようになった原因であるのかもしれない。◆小さい頃から、学校の音楽教育で親しんできたはずのクラシックなのに、どうして今まで魅力を感じなかったのか。学校での音楽教育にも、どうやら問題がある(おちやめ)

# 新歓行事たけなわ

今年も多くの新歓行事が行われている。いくつかの行事の様子とこれまでに終了した行事の感想を新歓実行委員長にうかがった。

## 新歓実行委員長 近藤晃朗くん

新歓祭の行事も皆さんの協力のおかげで、今のところ成功を取っています。四月三、五日に行われた新歓キャンプでは、セミナーハウスの定員を越え、参加できなかった新生生の盛況ぶりでした。また由木オリ、春展、音楽祭、学術研究発表会も例年以上の盛り上がりを見せ、ダンスパーティー、スポーツ大会といった新しい企画も大成功を収めました。残る行事はマラソン大会だけとなりましたが、これ

## 新歓キャンプ

平成元年度の新歓キャンプが四月三日から五日までの二泊三日で行われた。参加者は入学式前の新生生と二、三年生で、参加人数は、新生生百

## 由木オリ

四月九日(日)に学術部門担当の由木オリエンテーションが行われた。班に別れて、東薬大を中心に平山城址公園や由木周辺をレクリエーション

## 部室棟

今ではもう落ち着いてきたが、四月の部室棟は多くの新生で賑やかだった。映画研究部では現在六人の新生の加入が決まり、早くも映画制作を始めているそうだ。またスキー部には新生が十一人入部し、先日、スキー合宿に行ったそうだ。映画やスキーに興味のある新生は気軽に部室にきてほしいとのことだ。

## 学術発表会

四月二十二日(土)に学術研究発表会が行われた。これは八つの学術系クラブが、新生入生向きの題材で研究発表をするものである。それぞれ興味深い研究成果を披露したが、生化学研究部が三年連続優勝有機合成研究部と植物研究部が特別賞を受賞した。

## 学生自治会選挙

立候補者受付始まる

学生自治会選挙の選挙管理委員会(泉浩人委員長)が発足した。この選挙は学生自治会の最高執行機関である執行委員会の委員長が五月いつばいで任期切れとなるために行

## ファックス印刷に

### 新機器導入

印刷室に、ファックスの原稿を切る新しい機械、CROSS M OFファックス二台が入った。これは従来のものに比べて、大変スピードが早く、

## 多目的ホール

皆さんは多目的ホールをご存じだろうか。G階男子ロッカーの向かいの部屋が一月に完成した、学内では比較的新しい施設で、誰もが様々な目的で利用できるということから多目的ホールと呼ばれる。クラブの練習や委員会の会議の場などに使われたり、ダンスパーティのイベントも行われている。

多目的ホールの特徴は音響設備が充実していることだ。マイクや照明器具を備えており、さらに側壁が吸音パネルになっている。ライブや研究発表会などにはうってつけの場だ。またビ

## 投票 五/二十四(水)

☆一カ月にわたる午後の自由な時間ももうすぐ無くなってしまふ。次の休みはもう夏休みというので、とりあえずそれまで生きていたい。ま

◎私の名前はアレクサンドルゼルゲンスキー、ロシアから亡命してきました。「さあしや」と呼んでください。

▲発行が予定より十日以上も遅れてしまい、記事がちよっと古いものやタイムリーなものがないものや、記事がちよっと古く、大変面白いものや、現在、執行委員会

でも、大変面白いものが早く、